

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月18日 更新

事務事業名		環境美化推進員活動事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	市民生活部							
	施策	21 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課							
	施策の柱	62 ごみの発生抑制とリサイクルの推進				所属班	環境衛生班							
予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	7	事業連番	10189	根拠法令	合志市環境美化推進員設置要綱	成果優先度評価結果	⑤
													コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度	☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)								

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	地域のごみステーションの清掃等も兼ねて、市民に分別指導ができるような方の人材育成のため、平成11年度より開始した。環境美化推進員と市が連携し環境美化に取り組む。人口増に伴いごみステーションの設置箇所も増え、環境美化推進員の果たす役割は増大している。
【業務の流れ】	環境美化推進員への事業の説明会、報告会、報償費・費用弁償支払事務、推進員用帽子の購入等
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、役務費
【意見や要望】	区長や環境美化推進員より、増員の要望などがある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO) 環境美化推進員と連携し、年間を通じて地域の美化推進に取り組んだ。環境美化推進員への事業の説明会、報告会、報償費・費用弁償の支払事務を行った。会議開催回数2回。		30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 環境美化活動に取り組む環境美化推進員への事業の説明会、報告会、報償費・費用弁償の支払事務。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催回数	回	環境美化推進員の増加に伴う報償費の増
→ イ: 研修会参加者数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ ア: 人口
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
ごみの分別に対する意識を高める		→ ア: 地域で活動された回数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
環境美化に取り組むうえで、環境美化推進員の活動は重要であるため、成果指標を「地域で活動された回数」とし、目標値は環境美化推進員一人一活動とし環境美化推進員数を設定値とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア	回	2	2	2	2	3	2	3	2	
	イ	人	0	0	220	224	230	230	230	230	
② 対象指標	ア	人	60,008	61,022	60,900	61,652	61,500	62,000	62,500	63,000	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	150	150	161	159	162	163	165	165	
	イ										
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	4,442	4,340	4,602	4,406	4,939	4,923	5,306	5,306
	(A) 事業費計	千円	4,442	4,340	4,602	4,406	4,939	4,923	5,306	5,306	
		(A)のうち指定経費	千円	0	3,796	3,900	3,892	4,290	4,160	4,160	4,160
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	6	7	7	7	7	7	7
	人件 費	延べ業務時間	時間	0	453	400	385	400	400	400	400
		(B)人件費計	千円	0	0	1,593	1,523	1,593	1,593	1,593	1,593
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,442	4,340	6,195	5,929	6,532	6,516	6,899	6,899	

事務事業名	環境美化推進員活動事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 会議を2回開催し、環境美化推進員の意識向上を図ることができた。
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 目標達成のため、環境美化推進員一人一人の意識をを高めて活動してもらう。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ごみの発生抑制、リサイクルの推進状況はまだ十分とは言えず、啓発による成果向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 会議は説明会と報告会の年2回は必要だと考える。環境美化推進員数を減らせば事業費の削減は可能だが、ごみの分別、発生抑制、リサイクルの推進が滞ると同時に、各推進員の負担が大きくなる恐れがある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 環境美化推進員からの依頼で、ごみの分別指導や違反ごみの引取りなど、現地で排出者に指導することがあり、正規職員以外では対応できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 各行政区からの推薦（2年任期）であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 一般廃棄物の処理は市町村の業務であり、市がごみの減量と地域の美化活動を推進していく上で、その業務を推進員に委嘱して行うのは適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

平成29年度は会議を2回開催した。それに伴う報酬、費用弁償の支払い事務を行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							